

皆さん、改めまして新年おめでとうございます。大変難しい年ではありますが、皆様にはお元気にて新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

本年もまた恒例となりました賀詞交歓会をご案内申し上げましたところ、年初の大変お忙しい折と存じますが、浜田先生、中後先生、そして鈴木市長さんを始めといたしまして市内外の各界からこの様に多くの方々のご参加を賜り、素晴らしい賀詞交歓会をさせていただきます事、主催者一同この上ない喜びであります。重ねて心より感謝を申し上げる次第であります。ありがとうございました。

ご存じのように昨年来、政権交代、急激な政策変更、不況、円高、デフレスパイラル等、今まで経験したことのない大変困難な課題をたくさん抱えて、君津の経済界は年を越して参りましたが、皆様方のひとかたならぬご協力、率先してのご参加をいただき、無事大過なくと申し上げますよりも、すべて大成功に新年を迎えることができたことに誇りに思っております。改めてよき先輩、隣人、友人たちに恵まれたことをありがたく厚く感謝を申し上げたいと存じます。ありがとうございました。

このような経済情勢の中では、今年前半はかなり厳しい胸突き八丁の道程にさしかかるだろうと予測されております。少子高齢化によって、人口が急減する国家で成長繁栄した事例が全く見当たらないからであります。

しかし私共中小産業、経済界には市民生活の 70% を支える役目と期待がかかっており、市民生活に一日の休みがないように、私達もこれらの難問題に驚き、戸惑っている時間は全くないのであります。乱世だから活躍の場があり、新しい夢を画けるのだと心新たな年でありたいと決心いたしております。

ここ数年来、全国を学んで参りました。

全国には大小合わせて企業は公式には 430 万社、生業とするお店まで数えると 600 万社と言われておりますが、この 5 年間で凡そ 180 万社が倒産、廃業をいたしております。

まさに前例のない大不況であります。

最近、拍車をかける様に大規模小売店による安売り消耗戦争が日増しに激烈となっております。必然的にこの安売り商品の調達、中国、東南アジアへと依存するようになりますので、質、技術を大切に育て栄えて参りました中小産業界は、廃業、倒産へと追い込まれていったのであります。

今、若者達の就職先が見つからないことの大きな要因でもあります。

市場経済を信奉する人達は「経済は規制すべきでない。勝者がすべてを奪ってもよい」と言う市場論理はもう終わりにすべきだと私は強く思っています。

古来日本人は、この小さな資源のない島国で生きる方法として分かち合い、助け合って共に生きる知恵と心を大切に育ててきたのであります。

昨年全国をつぶさに歩いて見たことは、弱肉強食市場の経済論理を規制できなかった『まちやむら』は必ず滅びていくという実感でありました。大不況の中で成長繁栄しておるまちやむらはすでに地元が存在している、産業、経済の業種、商品については他からの大型企業の参入を規制して、地元業界の育成を計り、雇用を増大させ、商業資産価値を高めているからであります。

更にこうした「まち」の特徴として大小の生産工場はあっても大型小売店が立地していない。消費需要が流出しないで、まちの中を何回も回転する循環経済が成り立っている。例えば君津市の消費需要は一人凡そ 110 万円ですから全市では凡そ 1 千億円を何度も市内で回転させることによって少子高齢化時代のコンパクトなまちを成長、活性化させる、不況には相互扶助経済が大切であります。

一方、財源不足、予算削減によってこれからの「まちの活性化事業」の停滞が大変憂慮されておりますが、このまちでは鈴木市長さんが押し進めて下さっております「1% 支援事業」があります。すでに 2 年目を迎えておりますが、今日のこうした時代には極めて適切、効果的な政治手法だと感服することしきりあります。

「まち」とは市民共有のものですから、国や市が財源、人手不足で手が届かないなら自分たちの知恵、労力、資金も出し合って環境、文化を守り、住みよい生活空間を作って行こうと言う市民運動があり、市は市税 1% の中から不足するものは支援をしようと言う支援事業であります。この支援活動の素晴らしいことは、各地にリーダーと仲間達が育ち、地域に自主的な自立心や、連帯感が大きく生まれたことであります。現在支援額は凡そ 3 千万円ですが、市民の供出金、ボランティア労力を考えれば 10 数倍の経済効果を生んでおり、今や日本一の支援事業となりつつあります。

本年は多くの地域の方々のご参加をお願い申し上げます。

私は先程申し上げました様に仲間達と全国を旅して、君津のまちへ帰りついてつくづくと思うことは、まず飯も魚も野菜、そして酒もみな日本一うまいといつも気づくことでした。

人もまちも光り輝いて、野も山も水と緑が生き生きとして豊かであり、まちが乾いていないと感じられます。基幹産業であります、君津製鐵所の順調な稼働もまちの大きな原動力だと感じることでした。製鐵所の方々は謙虚な発表をされておりますが、今季は 2~300 億円くらいの黒字になるだろうと私は期待いたしております。

また首都圏 4 千万人のエリアの中で、今やきみつは天の時地の利に恵まれた格好な位置にあります。きみつを往来する観光人口凡そ 4 千万人、観光 GDP は 1 人当たり 1 万円であります。4 千億円が往来する訳であります。

大不況、スパイラルデフレを多くの方が嘆いておりますが、乱世こそ絶好のチャンスであります。乱世に夢を描いた戦国の英雄、秀吉達を思い浮かべて下さい。

今なぜ NHK が「竜馬伝」「坂の上の雲」を選んだかを思います時、維新、乱世に夢を画ける若きリーダー達を日本の国民が求めているからであります。

闇は濃いほど夜明けが近いと申します。

私達は次の時代を託する若者達が夢を失わないように、現代を支えて頑張っている人達が希望を捨てないように、老後の安全、安住を求める人達を裏切らないように、これからも尚一層の懸命努力を致して参ることをお約束申し上げ、今一度、皆様方の一層のご支援と健康と繁栄を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。